

街づくりプロデュース事務所を設立

清水 秀幸氏



誇りの持てるふるさとづくり

街づくりプロデュース、コンサルティングなどの「さくら都市総合研究所」が8月から事業を開始した。事務所は県庁交差点角のロワール丸ビル301号。社長の清水秀幸氏は守谷商会OBで、勤務した37年間のほとん

どを営業に携わるなか、土地の有効利用を求める地権者と、条件に合った出店や進出を希望する企業とのマッチングを提案するなど、点と点を結びつける線の営業を心がけてきた。

「企業内で短期的な利益目標を達成するために、その線を発展させ面にするのは難しかった。面としての仕事、都市形成、地域活

性化のための提案、街づくりのための環境整備をしていきたい」と還暦の60歳を契機に同社を立ち上げた。

とづくり」という目標に向かってぶれることなく進んでいきたい」と抱負を語っている。

地域全体の付加価値を高め、必然性のある商品提案を行う、そうした「ソフトへ対価を払う」考え方は、まだ日本ではなじみが薄いという。しかし「これまで培ってきた土地の有効活用・商用施設誘致などの提案、建設計画案件の総合プロデュースなどを行うことで『誇りの持てるふるさ

1952年長野市生まれ。明治大学政治経済学部政治学科を76年卒業、同年守谷商会入社、2008年に北陸支店長就任。11年の東日本大震災から震災復興担当として東北で2年間陣頭指揮を執り、13年4月から東京営業本部長就任、同年6月の退社まで復興担当を務めた。